様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	ファッション文化専門学校 DOREME
設置者名	学校法人支倉学園

１.「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
家政専門課程	デザイン造形学科服飾造形専攻(2 年制)	夜・通信	67 単位	7 単位	
	デザイン造形学科デザイン専攻(2 年制)	夜・通信	69 単位	7 単位	
	スタイリスト学科スタイリスト&メイクアップ専攻(2 年制)	夜・通信	49 単位	7 単位	
	ファッションビジネス学科ショッププロデュース専攻(2 年制)	夜・通信	66 単位	7 単位	
	ファッションビジネス学科ブランド MD 専攻(2 年制)	夜・通信	65 単位	7 単位	
	ファッションビジネス学科ファッションアドバイザー専攻(2 年制)	夜・通信	65 単位	7 単位	
	アーツ＆クラフト学科シルバーアクセサリー＆ジュエリー専攻(2 年制)	夜・通信	104 単位	7 単位	
	アーツ＆クラフト学科レザーワーク専攻(2 年制)	夜・通信	102 単位	7 単位	
	クリエーター学科デザイン専攻(1 年制)	夜・通信	20 単位	4 単位	
	クリエーター学科ビジネス専攻(1 年制)	夜・通信	40 単位	4 単位	
	クリエーター学科アーツ&クラフト専攻(1 年制)	夜・通信	60 単位	4 単位	

２.「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.hasekura.ac.jp/school/outline/ 「実務経験のある教職員等による授業科目の一覧」にて公表

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	ファッション文化専門学校 DOREME
設置者名	学校法人　支倉学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

https://www.hasekura.ac.jp/school/outline/ 学校法人支倉学園　理事名簿にて公表

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	司法書士・行政書士	2026.5.29～ 2030.5.28	下記項目に係る案件の審議と承認 ⑴ 予算・事業計画及び決算・ 事業報告 ⑵ ⑴以外の重要な義務の負担 又は権利の放棄 ⑶ 合併・解散 ⑷ 役員・評議員人事 ⑸ ⑴～⑷以外の重要事項財務改善の助言
非常勤	会社役員	2026.5.29～ 2030.5.28	同上
非常勤	会社役員	2026.5.29～ 2030.5.28	同上
非常勤	会社役員	2026.5.29～ 2030.5.28	同上
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ファッション文化専門学校 DOREME
設置者名	学校法人支倉学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 【作成について】 教務担当者が学生の状況や授業内容をもとにカリキュラム会議を実施。次年度のカリキュラム、シラバスの制作に取り組む。カリキュラム決定後、各講師に授業依頼を行い、シラバス作成をしてもらう。シラバスの書式は全科目同じ形式を教務部が定めており、授業担当者は授業概要、学習到達目標、授業計画、教科書及び教材、成績評価の目安と方法を記入することになっている。 【時期について】 8 月頃から 11 月中旬に本年度の授業査定、振り返りを実施している。学生アンケートや校長中心の査定委員が授業見学を実施し、次年度の授業内容に活かしている。夏季、秋季にカリキュラム会議を実施し、教務全員で話し合いを行う。その後シラバスを制作し、2 月の職員会議での校長承認で正式決定となる。学生に向けては、4 月のオリエンテーション（履修）期間に各担当から説明をし、必要な道具や教材なども併せて申請させる。また、本学 HP にてシラバスを公表している。
授業計画書の公表方法　https://www.hasekura.ac.jp/school/outline/ にて公表
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 成績評価は、毎学期ごとに行われる講師会議の中で、「成績評価について」の資料を基に教務担当から授業担当者に毎回説明をしている。科目の内容にあった評価方法と目安を授業担当者が設定し、シラバスに記載している。出席率、試験、課題評価等の方法で学生の到達度をはかり評価を行う。単位未取得となった学生が出た際は、単位認定会議にて学生の状況を調査し、追試や補講の実施の是非を検討し、学生の状況に合わせたフォローアップを徹底している。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 本学の評価基準は、100 点法によるものとし、標語で表す場合は、次の基準による。 A：100～90 点　B：89～75 点　C：74～60 点　D：59～45 点　E:44 点以下 A～D は合格となり、所定の単位が認定される。E は不合格となり、その科目の単位は認められない。評価方法はシラバスに記載され、各授業の最初の回でも授業担当者から評価方法について説明を行っている。また、本校 HP でもシラバスを公開し、基準の周知に努めている。 また、多くの授業で比重の高い出席率に関しては、毎月の職員会議でクラス担当者が報告し合い、出席率が低下気味の学生は早い段階で個人面談を行っている。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.hasekura.ac.jp/school/outline/ 「客観的な指標に基づく成績の分布を示す資料」にて公表
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 卒業認定は学則第 18 条「本校に所定の修業年限以上在学し、学則に定める規定科目の時間数・単位数、入学金及び学費等の納入を怠っていない者には、単位認定会議の議を経て校長が卒業を認定し卒業証書を授与する。」と定め、適切に取り組んでいる。 また、毎年度全学生に配布する「学生のしおり」にも記載し、学則の写しも併せてオリエンテーション期間にクラス担当から説明をしている。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.hasekura.ac.jp/school/outline/ 「卒業の認定に関する方針(ディプロマポリシー)」にて公表

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校)】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	ファッション文化専門学校 DOREME
設置者名	学校法人支倉学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.hasekura.ac.jp/school/outline/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
服飾・家政	家政専門課程	デザイン造形学科 服飾造形専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	117 単位	7 単位	76 単位	34 単位		
			117 単位				

学生総定員数（学科単位）	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40 人の内数	21 人	0 人	2 人	11 人	13 人

（備考）（任意記載事項）

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
8 月頃からカリキュラム会議を実施。次年度のカリキュラム、シラバスの制作に取り組む。カリキュラム決定後、各講師に授業依頼を行い、シラバスに授業概要、学習到達目標、授業計画、教科書及び教材、成績評価の目安と方法を記入してもらう。授業が決定し次第年度内に HP で公開する。学生に向けては、4 月のオリエンテーション（履修）期間に各担当から説明をし、必要な道具や教材なども併せて申請させる。
成績評価の基準・方法
本学の評価基準は、100 点法によるものとし、標語で表す場合は、次の基準による。 A：100～90 点　B：89～75 点　C：74～60 点　D：59～45 点　E:44 点以下 A～D は合格となり、所定の単位が認定される。E は不合格となり、その科目の単位は認められない。評価方法はシラバスに記載され、各授業の最初の回でも授業担当者から評価方法について説明を行っている。また、本校 HP でもシラバスを公開し、基準の周知に努めている。
修了・進級の認定基準

卒業認定はディプロマポリシーにて「本校に所定の修業年限以上在学し、学則に定める規定科目の時間数・単位数、入学金及び学費等の納入を怠っていない者には、単位認定会議の議を経て校長が卒業を認定し卒業証書を授与する。」と定め、適切に取り組んでいる。全学生に配布する「学生のしおり」にも記載し、説明をしている。
学修支援等
実技教科が中心の学科の為、出席率が非常に重要である。授業時間だけでは足りない場合はクラス担当が放課後も補講等で支援している。また、進路相談や学校生活での悩みもクラス担当者だけでなく、各部門担当者が連携して丁寧に対処し、学生一人一人に合わせた支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5 人 （100%）	1 人 （ 20.0%）	3 人 （ 60.0%）	1 人 （ 20.0%）
（主な就職、業界等）ファッション・アパレル業界(販売・縫製・お直し) 佐藤繊維㈱、マジックミシン　等			
（就職指導内容）学校生活全般で就職意識を高める指導をし、毎年 3 月に就職活動準備講座、4 月に校内企業説明会、2 年前期にキャリア開発という就職活動の支援講座を設置している。それ以外にも就職指導担当者が個別面談、相談、添削、面接練習を行い、学生個々へ丁寧な指導を心がけ行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等））パターンメーキング技術検定２級、洋裁技術検定中級、フォーマルスペシャリスト検定、色彩検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	1 人	7.1%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担当による面談やメンタルヘルスケア担当者によるカウンセリングを随時実施し、問題が大きくなる前に対応に努めている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
服飾・家政	家政専門課程	デザイン造形学科 デザイン専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	117単位	7単位	76単位	34単位		
			117単位				

学生総定員数（学科単位）	学生実員	うち留学生数	専任教員数（学科単位）	兼任教員数（学科単位）	総教員数（学科単位）
40人の内数	17人	0人	2人	11人	13人

（備考）（任意記載事項）

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

8月頃からカリキュラム会議を実施。次年度のカリキュラム、シラバスの制作に取り組む。カリキュラム決定後、各講師に授業依頼を行い、シラバスに授業概要、学習到達目標、授業計画、教科書及び教材、成績評価の目安と方法を記入してもらう。授業が決定し次第年度内にHPで公開する。学生に向けては、4月のオリエンテーション（履修）期間に各担当から説明をし、必要な道具や教材なども併せて申請させる。

成績評価の基準・方法

本学の評価基準は、100点法によるものとし、標語で表す場合は、次の基準による。
A：100～90点　B：89～75点　C：74～60点　D：59～45点　E:44点以下
A～Dは合格となり、所定の単位が認定される。Eは不合格となり、その科目の単位は認められない。評価方法はシラバスに記載され、各授業の最初の回でも授業担当者から評価方法について説明を行っている。また、本校HPでもシラバスを公開し、基準の周知に努めている。

修了・進級の認定基準

卒業認定はディプロマポリシーにて「本校に所定の修業年限以上在学し、学則に定める規定科目の時間数・単位数、入学金及び学費等の納入を怠っていない者には、単位認定会議の議を経て校長が卒業を認定し卒業証書を授与する。」と定め、適切に取り組んでいる。全学生に配布する「学生のしおり」にも記載し、説明をしている。

学修支援等

（概要）実技教科が中心の学科の為、出席率が非常に重要である。授業時間だけでは足りない場合はクラス担当が放課後も補講等で支援している。また、進路相談や学校生活での悩みもクラス担当者だけでなく、各部門担当者が連携して丁寧に対処し、学生一人一人に合わせた支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数	その他

		（自営業を含む。）	
8 人 （100%）	4 人 （ 50.0%）	4 人 （ 50.0%）	0 人 （ 0%）

（主な就職、業界等）
ファッション・アパレル業界(縫製、販売)、サービス業（飲食）
四季㈱、飲食業　等

（就職指導内容）学校生活全般で就職意識を高める指導をし、毎年 3 月に就職活動準備講座、4 月に校内企業説明会、2 年前期にキャリア開発という就職活動の支援講座を設置している。それ以外にも就職指導担当者が個別面談、相談、添削、面接練習を行い、学生個々へ丁寧な指導を心がけ行っている。

（主な学修成果（資格・検定等））
パターンメーキング技術検定 2 級、洋裁技術検定中級、フォーマルスペシャリスト検定、色彩検定

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19 人	2 人	10.5%

（中途退学の主な理由）
精神疾患、進路変更

（中退防止・中退者支援のための取組）
クラス担当による面談やメンタルヘルスケア担当者によるカウンセリングを随時実施し、問題が大きくなる前に対応に努めている。

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
服飾・家政	家政専門課程	スタイリスト学科 スタイリスト&メイクアップ専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	110単位	13単位	65単位	32単位		
			110単位				

学生総定員数(学科単位)	学生実員	うち留学生数	専任教員数(学科別)	兼任教員数	総教員数
10人の内数	5人	0人	1人	12人	13人

（備考）（任意記載事項）

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

8月頃からカリキュラム会議を実施。次年度のカリキュラム、シラバスの制作に取り組む。カリキュラム決定後、各講師に授業依頼を行い、シラバスに授業概要、学習到達目標、授業計画、教科書及び教材、成績評価の目安と方法を記入してもらう。授業が決定し次第年度内にHPで公開する。学生に向けては、4月のオリエンテーション（履修）期間に各担当から説明をし、必要な道具や教材なども併せて申請させる。

成績評価の基準・方法

本学の評価基準は、100点法によるものとし、標語で表す場合は、次の基準による。
A：100～90点　B：89～75点　C：74～60点　D：59～45点　E:44点以下
A～Dは合格となり、所定の単位が認定される。Eは不合格となり、その科目の単位は認められない。評価方法はシラバスに記載され、各授業の最初の回でも授業担当者から評価方法について説明を行っている。また、本校HPでもシラバスを公開し、基準の周知に努めている。

修了・進級の認定基準

卒業認定はディプロマポリシーにて「本校に所定の修業年限以上在学し、学則に定める規定科目の時間数・単位数、入学金及び学費等の納入を怠っていない者には、単位認定会議の議を経て校長が卒業を認定し卒業証書を授与する。」と定め、適切に取り組んでいる。全学生に配布する「学生のしおり」にも記載し、説明をしている。

学修支援等

（概要）外部実習が多い学科であり、出席率が重要視される。クラス担任がこまめな面談を実施しつつ、兼任教員も一丸となって学生を支援している。就職先も多岐にわたる為、一人一人に合ったキャリアプランを提案、検討している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
3人 (100%)	1人 (33.3%)	2人 (66.7%)	0人 (0%)

（主な就職、業界等）
ファッション・アパレル業界(縫製、販売)
オズファインクロス、ジョブ・グー（障がい者就労継続支援A型事業所）　等

（就職指導内容）学校生活全般で就職意識を高める指導をし、毎年 3 月に就職活動準備講座、4 月に校内企業説明会、2 年前期にキャリア開発という就職活動の支援講座を設置している。それ以外にも就職指導担当者が個別面談、相談、添削、面接練習を行い、学生個々へ丁寧な指導を心がけ行っている。地元企業の就職先開拓も積極的に行っている。
（主な学修成果（資格・検定等）） パーソナルカラー検定、ネイリスト検定、フォーマルスペシャリスト検定、色彩検定、ファッション販売検定
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担当による面談やメンタルヘルスケア担当者によるカウンセリングを随時実施し、問題が大きくなる前に対応に努めている。必要に応じて保護者とも協力し、状況回復に尽力している。職員のメンタルヘルス研修会も実施している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
服飾・家政	家政専門課程	ファッションビジネス学科 ショッププロデュース専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	102単位	20単位	45単位	37単位		
			102単位				

学生総定員数（学科単位）	学生実員	うち留学生数	専任教員数（学科単位）	兼任教員数（学科単位）	総教員数（学科単位）
30人の内数	8人	0人	2人	10人	12人

（備考）（任意記載事項）

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（8月頃からカリキュラム会議を実施。次年度のカリキュラム、シラバスの制作に取り組む。カリキュラム決定後、各講師に授業依頼を行い、シラバスに授業概要、学習到達目標、授業計画、教科書及び教材、成績評価の目安と方法を記入してもらう。授業が決定し次第年度内にHPで公開する。学生に向けては、4月のオリエンテーション（履修）期間に各担当から説明をし、必要な道具や教材なども併せて申請させる。

成績評価の基準・方法

本学の評価基準は、100点法によるものとし、標語で表す場合は、次の基準による。
A：100～90点　B：89～75点　C：74～60点　D：59～45点　E:44点以下
A～Dは合格となり、所定の単位が認定される。Eは不合格となり、その科目の単位は認められない。評価方法はシラバスに記載され、各授業の最初の回でも授業担当者から評価方法について説明を行っている。また、本校HPでもシラバスを公開し、基準の周知に努めている。

修了・進級の認定基準

卒業認定はディプロマポリシーにて「本校に所定の修業年限以上在学し、学則に定める規定科目の時間数・単位数、入学金及び学費等の納入を怠っていない者には、単位認定会議の議を経て校長が卒業を認定し卒業証書を授与する。」と定め、適切に取り組んでいる。全学生に配布する「学生のしおり」にも記載し、説明をしている。

学修支援等

（概要）検定取得を主に目指す学科であり、合格率向上のために生活習慣から指導をしている。また就職意識も高い学生が多く、コミュニケーション能力などのキャリア教育も１年次から必修で教えている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
2人 (100%)	1人 (50.0%)	1人 (50.0%)	0人 (0%)

（主な就職、業界等）
ファッション・アパレル業界(販売)
CANDY WOOD　他

（就職指導内容）学校生活全般で就職意識を高める指導をしている。また、この学科は男子学生が多いが、アパレル業界の新卒採用ではメンズブランドが多くは無い為、より手厚い指導を心がけている。
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定、ファッション販売検定、ファッションビジネス能力検定、フォーマルスペシャリスト検定
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担当によるこまめな面談の実施を徹底している。また、学生同士の結びつきを強化するため、学生活動や行事の充実化をはかっている。2020 年以降は入学前面談も実施し、入学学科とのミスマッチを防ぐよう指導を徹底している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
服飾・家政	家政専門課程	ファッションビジネス学科 ブランドMD専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	101単位	20単位	44単位	37単位		
			101単位				

学生総定員数（学科単位）	学生実員	うち留学生数	専任教員数（学科単位）	兼任教員数（学科単位）	総教員数（学科単位）
30人の内数	4人	0人	2人	10人	12人

（備考）（任意記載事項）

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（8月頃からカリキュラム会議を実施。次年度のカリキュラム、シラバスの制作に取り組む。カリキュラム決定後、各講師に授業依頼を行い、シラバスに授業概要、学習到達目標、授業計画、教科書及び教材、成績評価の目安と方法を記入してもらう。授業が決定し次第年度内にHPで公開する。学生に向けては、4月のオリエンテーション（履修）期間に各担当から説明をし、必要な道具や教材なども併せて申請させる。

成績評価の基準・方法

本学の評価基準は、100点法によるものとし、標語で表す場合は、次の基準による。
A：100～90点　B：89～75点　C：74～60点　D：59～45点　E:44点以下
A～Dは合格となり、所定の単位が認定される。Eは不合格となり、その科目の単位は認められない。評価方法はシラバスに記載され、各授業の最初の回でも授業担当者から評価方法について説明を行っている。また、本校HPでもシラバスを公開し、基準の周知に努めている。

修了・進級の認定基準

卒業認定はディプロマポリシーにて「本校に所定の修業年限以上在学し、学則に定める規定科目の時間数・単位数、入学金及び学費等の納入を怠っていない者には、単位認定会議の議を経て校長が卒業を認定し卒業証書を授与する。」と定め、適切に取り組んでいる。全学生に配布する「学生のしおり」にも記載し、説明をしている。

学修支援等

（概要）検定取得を主に目指す学科であり、合格率向上のために生活習慣から指導をしている。また就職意識も高い学生が多く、コミュニケーション能力などのキャリア教育も１年次から必修で教えている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
6人 (100%)	1人 (16.7%)	5人 (83.3%)	0人 (0%)

（主な就職、業界等）
ファッション・アパレル業界（販売）
㈱パル、㈱ユナイテッドアローズ、㈱グラニフ　等

（就職指導内容）学校生活全般で就職意識を高める指導をしている。また、この学科は男子学生が多いが、アパレル業界の新卒採用ではメンズブランドが多くは無い為、より手厚い指導を心がけている。
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定、ファッション販売検定、ファッションビジネス能力検定、フォーマルスペシャリスト検定
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11 人	1 人	9.1%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担当によるこまめな面談の実施を徹底している。また、学生同士の結びつきを強化するため、学生活動や行事の充実化をはかっている。2020 年以降は入学前面談も実施し、入学学科とのミスマッチを防ぐよう指導を徹底している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
服飾・家政	家政専門課程	ファッションビジネス学科 ファッションアドバイザー専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	102単位	45単位	20単位	37単位		
			102単位				

学生総定員数（学科単位）	学生実員	うち留学生数	専任教員数（学科単位）	兼任教員数（学科単位）	総教員数（学科単位）
30人の内数	3人	0人	2人	11人	12人

（備考）（任意記載事項）

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（8月頃からカリキュラム会議を実施。次年度のカリキュラム、シラバスの制作に取り組む。カリキュラム決定後、各講師に授業依頼を行い、シラバスに授業概要、学習到達目標、授業計画、教科書及び教材、成績評価の目安と方法を記入してもらう。授業が決定し次第年度内にHPで公開する。学生に向けては、4月のオリエンテーション（履修）期間に各担当から説明をし、必要な道具や教材なども併せて申請させる。

成績評価の基準・方法

本学の評価基準は、100点法によるものとし、標語で表す場合は、次の基準による。
A：100～90点　B：89～75点　C：74～60点　D：59～45点　E:44点以下
A～Dは合格となり、所定の単位が認定される。Eは不合格となり、その科目の単位は認められない。評価方法はシラバスに記載され、各授業の最初の回でも授業担当者から評価方法について説明を行っている。また、本校HPでもシラバスを公開し、基準の周知に努めている。

修了・進級の認定基準

卒業認定はディプロマポリシーにて「本校に所定の修業年限以上在学し、学則に定める規定科目の時間数・単位数、入学金及び学費等の納入を怠っていない者には、単位認定会議の議を経て校長が卒業を認定し卒業証書を授与する。」と定め、適切に取り組んでいる。全学生に配布する「学生のしおり」にも記載し、説明をしている。

学修支援等

（概要）検定取得を主に目指す学科であり、合格率向上のために生活習慣から指導をしている。また就職意識も高い学生が多く、コミュニケーション能力などのキャリア教育も１年次から必修で教えている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
2人 (100%)	0人 (0%)	2人 (100%)	0人 (0%)

（主な就職、業界等）
ファッション・アパレル業界(販売・企画)
㈱アーバンリサーチ、㈱ハッピーライン　等

（就職指導内容）学校生活全般で就職意識を高める指導をしている。また、この学科は男子学生が多いが、アパレル業界の新卒採用ではメンズブランドが多くは無い為、より手厚い指導を心がけている。
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定、ファッション販売検定、ファッションビジネス能力検定
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6 人	1 人	16.7%
（中途退学の主な理由） 学力不振		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担当や学生課によるこまめな面談の実施を徹底している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
服飾・家政	家政専門課程	アーツ＆クラフト学科 シルバーアクセサリー ＆ジュエリー専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	106単位	8単位	60単位	38単位		
			106単位				

学生総定員数（学科単位）	学生実員	うち留学生数	専任教員数（学科単位）	兼任教員数（学科単位）	総教員数（学科単位）
10人の内数	4人	0人	2人	5人	7人

（備考）（任意記載事項）

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

8月頃からカリキュラム会議を実施。次年度のカリキュラム、シラバスの制作に取り組む。カリキュラム決定後、各講師に授業依頼を行い、シラバスに授業概要、学習到達目標、授業計画、教科書及び教材、成績評価の目安と方法を記入してもらう。授業が決定し次第年度内にHPで公開する。学生に向けては、4月のオリエンテーション（履修）期間に各担当から説明をし、必要な道具や教材なども併せて申請させる。

成績評価の基準・方法

本学の評価基準は、100点法によるものとし、標語で表す場合は、次の基準による。
A：100～90点　B：89～75点　C：74～60点　D：59～45点　E:44点以下
A～Dは合格となり、所定の単位が認定される。Eは不合格となり、その科目の単位は認められない。評価方法はシラバスに記載され、各授業の最初の回でも授業担当者から評価方法について説明を行っている。また、本校HPでもシラバスを公開し、基準の周知に努めている。

修了・進級の認定基準

卒業認定はディプロマポリシーにて「本校に所定の修業年限以上在学し、学則に定める規定科目の時間数・単位数、入学金及び学費等の納入を怠っていない者には、単位認定会議の議を経て校長が卒業を認定し卒業証書を授与する。」と定め、適切に取り組んでいる。全学生に配布する「学生のしおり」にも記載し、説明をしている。

学修支援等

（概要）実技中心の学科で、提出課題での評価が重要視されている。元々経験がある学生はほぼいないため、0からのスタートになるため、丁寧な学習支援に努めている。講師は職人肌でプロ意識が高く厳しい為、クラス担任が生活習慣や学習方法など総合的にフォローしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
0人 (0%)	0人 (　0%)	0人 (　0%)	0人 (　0%)

（主な就職、業界等）
（就職指導内容） 就職希望者が少ない学科ではあるが、将来の人生設計やお金の使い方などの授業を通して、就職意欲を高めたり、進学意思の確認をしたりしている。就職希望の場合は、入念な面接練習を行っている。
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定、ジュエリーコーディネーター検定
（備考）（任意記載事項） 第 2 学年在籍者無し

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担当によるこまめな面談の実施を徹底している。また、学生同士の結びつきを強化するため、学生活動や行事の充実化をはかっている。2020 年以降は入学前面談も実施し、入学学科とのミスマッチを防ぐよう指導を徹底している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
服飾・家政	家政専門課程	アーツ＆クラフト学科 レザーワーク専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	104単位	8単位	50単位	46単位		
			104単位				

学生総定員数（学科単位）	学生実員	うち留学生数	専任教員数（学科単位）	兼任教員数（学科単位）	総教員数（学科単位）
10人の内数	1人	0人	2人	5人	7人

（備考）（任意記載事項）

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

8月頃からカリキュラム会議を実施。次年度のカリキュラム、シラバスの制作に取り組む。カリキュラム決定後、各講師に授業依頼を行い、シラバスに授業概要、学習到達目標、授業計画、教科書及び教材、成績評価の目安と方法を記入してもらう。授業が決定し次第年度内にHPで公開する。学生に向けては、4月のオリエンテーション（履修）期間に各担当から説明をし、必要な道具や教材なども併せて申請させる。

成績評価の基準・方法

本学の評価基準は、100点法によるものとし、標語で表す場合は、次の基準による。
A：100～90点　B：89～75点　C：74～60点　D：59～45点　E:44点以下
A～Dは合格となり、所定の単位が認定される。Eは不合格となり、その科目の単位は認められない。評価方法はシラバスに記載され、各授業の最初の回でも授業担当者から評価方法について説明を行っている。また、本校HPでもシラバスを公開し、基準の周知に努めている。

修了・進級の認定基準

卒業認定はディプロマポリシーにて「本校に所定の修業年限以上在学し、学則に定める規定科目の時間数・単位数、入学金及び学費等の納入を怠っていない者には、単位認定会議の議を経て校長が卒業を認定し卒業証書を授与する。」と定め、適切に取り組んでいる。全学生に配布する「学生のしおり」にも記載し、説明をしている。

学修支援等

（概要）実技中心の学科で、提出課題での評価が重要視されている。元々経験がある学生はほぼいないため、0からのスタートになるため、丁寧な学習支援に努めている。講師は職人肌でプロ意識が高く厳しい為、クラス担任が生活習慣や学習方法など総合的にフォローしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
0人 (0%)	0人 (　0%)	0人 (　0%)	0人 (　0%)

（主な就職、業界等）

（就職指導内容） 就職希望者が少ない学科ではあるが、将来の人生設計やお金の使い方などの授業を通して、就職意欲を高めたり、進学意思の確認をしたりしている。就職希望の場合は、入念な面接練習を行っている。
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定
（備考）（任意記載事項） 第 2 学年在籍者無し

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担当によるこまめな面談の実施を徹底している。また、学生同士の結びつきを強化するため、学生活動や行事の充実化をはかっている。2020 年以降は入学前面談も実施し、入学学科とのミスマッチを防ぐよう指導を徹底している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
服飾・家政	家政専門課程	クリエーター学科 デザイン専攻		

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	72単位	1単位	54単位	17単位		
			72単位				

学生総定員数（学科単位）	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
5人の内数	4人	0人	2人	5人	7人

（備考）（任意記載事項）

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

8月頃からカリキュラム会議を実施。次年度のカリキュラム、シラバスの制作に取り組む。カリキュラム決定後、各講師に授業依頼を行い、シラバスに授業概要、学習到達目標、授業計画、教科書及び教材、成績評価の目安と方法を記入してもらう。授業が決定し次第年度内にHPで公開する。学生に向けては、4月のオリエンテーション（履修）期間に各担当から説明をし、必要な道具や教材なども併せて申請させる

成績評価の基準・方法

本学の評価基準は、100点法によるものとし、標語で表す場合は、次の基準による。
A：100～90点　B：89～75点　C：74～60点　D：59～45点　E:44点以下
A～Dは合格となり、所定の単位が認定される。Eは不合格となり、その科目の単位は認められない。評価方法はシラバスに記載され、各授業の最初の回でも授業担当者から評価方法について説明を行っている。また、本校HPでもシラバスを公開し、基準の周知に努めている。

修了・進級の認定基準

卒業認定はディプロマポリシーにて「本校に所定の修業年限以上在学し、学則に定める規定科目の時間数・単位数、入学金及び学費等の納入を怠っていない者には、単位認定会議の議を経て校長が卒業を認定し卒業証書を授与する。」と定め、適切に取り組んでいる。全学生に配布する「学生のしおり」にも記載し、説明をしている。

学修支援等

（概要）2年間の課程を修了した者だけが入学できる学科のため、実技が中心である。本人の意欲を高め、高難度な作品制作に挑む。より高い技術の習得が出来るよう、丁寧な指導を徹底している。同時進行で就職指導も強化し、就職率を高めている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
6人 （100%）	0人 （　0%）	6人 （　100%）	0人 （　0%）

（主な就職、業界等）
ファッション・アパレル業界(縫製)
㈱ユミカツラインターナショナル、和興ニット岩手㈱、㈱ソーイングボックス、㈱パル、マークスタイラー㈱、白石ポリテックス工業㈱　等

（就職指導内容） デザイナーやパタンナーを希望する学生が多いが、求人は非常に少ない為、他のジャンルでも就職できるよう面談を重ねている。また、面接練習等も頻繁に行い、就職率の向上に努めている。
（主な学修成果（資格・検定等）） 洋裁検定上級、パターンメーキング技術検定２級、フォーマルスペシャリスト検定 各種コンテスト入賞実績
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7 人	1 人	14.3%
（中途退学の主な理由） 精神疾患		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担当によるこまめな面談の実施を徹底している。また、学生同士の結びつきを強化するため、学生活動や行事の充実化をはかっている。上級学科としてカリキュラムの充実を図り、やる気を削がないよう、本人のレベルにあった教育をしている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
服飾・家政	家政専門課程	クリエーター学科 アーツ＆クラフト専攻		

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	60単位		36単位	24単位		
			60単位				

学生総定員数（学科単位）	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
5人の内数	0人	0人	2人	1人	3人

（備考）（任意記載事項）

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

8月頃からカリキュラム会議を実施。次年度のカリキュラム、シラバスの制作に取り組む。カリキュラム決定後、各講師に授業依頼を行い、シラバスに授業概要、学習到達目標、授業計画、教科書及び教材、成績評価の目安と方法を記入してもらう。授業が決定し次第年度内にHPで公開する。学生に向けては、4月のオリエンテーション（履修）期間に各担当から説明をし、必要な道具や教材なども併せて申請させる

成績評価の基準・方法

本学の評価基準は、100点法によるものとし、標語で表す場合は、次の基準による。
A：100～90点　B：89～75点　C：74～60点　D：59～45点　E:44点以下
A～Dは合格となり、所定の単位が認定される。Eは不合格となり、その科目の単位は認められない。評価方法はシラバスに記載され、各授業の最初の回でも授業担当者から評価方法について説明を行っている。また、本校HPでもシラバスを公開し、基準の周知に努めている。

修了・進級の認定基準

卒業認定はディプロマポリシーにて「本校に所定の修業年限以上在学し、学則に定める規定科目の時間数・単位数、入学金及び学費等の納入を怠っていない者には、単位認定会議の議を経て校長が卒業を認定し卒業証書を授与する。」と定め、適切に取り組んでいる。全学生に配布する「学生のしおり」にも記載し、説明をしている。

学修支援等

（概要）2年間の課程を修了した者だけが入学できる学科のため、実技が中心である。本人の意欲を高め、高難度な作品制作に挑む。より高い技術の習得が出来るよう、丁寧な指導を徹底している。同時進行で就職指導も強化し、就職率を高めている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
1人 (100%)	0人 (0%)	1人 (100%)	0人 (0%)

（主な就職、業界等）
㈱ジュエリーかまた

（就職指導内容） 就職希望者が少ない専攻ではあるが、将来の人生設計やお金の使い方などの授業を通して、就職意欲を高めたり、進学意思の確認をしたりしている。就職希望の場合は、入念な面接練習を行っている。
（主な学修成果（資格・検定等）） 各種コンテストへの参加。 JAPAN JEWELLERY COMPETITION UNDER 26 部門入賞実績あり。
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） この学科は自立して自分で学費を支払っている学生が多い為、学校独自の授業料減免制度を設けている。他にも奨学金担当者によるこまめな面談を行い、経済的不安を払拭できるよう努めている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
服飾・家政	家政専門課程	クリエーター学科 ビジネス専攻		

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	46単位		36単位	5単位		5単位
			46単位				

学生総定員数（学科単位）	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
5人の内数	3人	0人	2人	4人	6人

（備考）（任意記載事項）

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

8月頃からカリキュラム会議を実施。次年度のカリキュラム、シラバスの制作に取り組む。カリキュラム決定後、各講師に授業依頼を行い、シラバスに授業概要、学習到達目標、授業計画、教科書及び教材、成績評価の目安と方法を記入してもらう。授業が決定し次第年度内にHPで公開する。学生に向けては、4月のオリエンテーション（履修）期間に各担当から説明をし、必要な道具や教材なども併せて申請させる

成績評価の基準・方法

本学の評価基準は、100点法によるものとし、標語で表す場合は、次の基準による。
A：100～90点　B：89～75点　C：74～60点　D：59～45点　E:44点以下
A～Dは合格となり、所定の単位が認定される。Eは不合格となり、その科目の単位は認められない。評価方法はシラバスに記載され、各授業の最初の回でも授業担当者から評価方法について説明を行っている。また、本校HPでもシラバスを公開し、基準の周知に努めている。

修了・進級の認定基準

卒業認定はディプロマポリシーにて「本校に所定の修業年限以上在学し、学則に定める規定科目の時間数・単位数、入学金及び学費等の納入を怠っていない者には、単位認定会議の議を経て校長が卒業を認定し卒業証書を授与する。」と定め、適切に取り組んでいる。全学生に配布する「学生のしおり」にも記載し、説明をしている。

学修支援等

（概要）2年間の課程を修了した者だけが入学できる学科のため、実習が中心である。本人の意欲を高め、インターンシップ等を通して実学を学ぶ。同時進行で就職指導も強化し、就職率を高めている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
0人 (0%)	0人 (　0%)	0人 (　0%)	0人 (　0%)

（主な就職、業界等）

（就職指導内容） インターンシップや学外活動を通して、社会人基礎力を向上させている。進路指導は 1 人 1 人丁寧に面談し、サポートしている。
（主な学修成果（資格・検定等）） 各種コンテスト入賞実績
（備考）（任意記載事項） 令和 7 年度在籍者無し

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） この学科は自立して自分で学費を支払っている学生が多い為、学校独自の授業料減免制度を設けている。他にも奨学金担当者によるこまめな面談を行い、経済的不安を払拭できるよう努めている。		

②学校単位の情報

ａ）「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
デザイン造形学科	180,000 円	500,000 円	382,930 円	その他内訳 入学選考料 10,000 円 施設維持費 190,000 円 教科書・教材代 182,930 円
スタイリスト学科	180,000 円	500,000 円	378,135 円	その他内訳 入学選考料 10,000 円 施設維持費 190,000 円 教科書・教材代 178,135 円
ファッションビジネス学科	180,000 円	500,000 円	333,076 円	その他内訳 入学選考料 10,000 円 施設維持費 190,000 円 教科書・教材代 133,076 円
アーツ＆クラフト学科	180,000 円	500,000 円	601,198 円	その他内訳 入学選考料 10,000 円 施設維持費 240,000 円 教科書・教材代 351,198 円
クリエーター学科 (1 年制)	0 円	530,000 円	177,781 円	その他内訳 施設維持費 95,000 円 教科書・教材代 82,781 円
修学支援（任意記載事項）				

推薦入学、特待生入学、ファッション特待生入学、社会人入学制度→レベルに応じて入学金減免。家族入学優遇制度、めるへんの森幼稚園卒園生優遇制度、DOREME 奨励金、入学手続き金分割納入制度、授業料分割納入制度。 令和８年度～　総合型選抜入試受験者減免制度・特待生制度開設

ｂ）学校評価

自己点検結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.hasekura.ac.jp/school/outline/ 「学校評価　自己点検・自己評価報告書」にて公表		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
評価委員会(外部講師、企業代表者、卒業生、地元住民等７名)を設立し、６月頃(決算終了後)委員会を実施。自己評価内容に従い、教育課程や就職率・入学生募集等の評価結果を真摯に受け止め、学校運営の改善点を見つけ、学校長を中心に全教職員にて是正する計画を立てている。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
㈲針惣	2026 年 6 月 1 日～ 2027 年 5 月 31 日	代表
古川直磨公認会計士事務所	2026 年 6 月 1 日～ 2027 年 5 月 31 日	税理士
㈱エクシード	2026 年 6 月 1 日～ 2027 年 5 月 31 日	役員
&A color office	2026 年 6 月 1 日～ 2027 年 5 月 31 日	講師
㈲ONEanother	2026 年 6 月 1 日～ 2027 年 5 月 31 日	アパレル企業 評議員
個人事業主	2026 年 6 月 1 日～ 2027 年 5 月 31 日	卒業生 講師
第三者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.hasekura.ac.jp/school/outline/ 「学校評価　第三者評価・学校関係者評価報告書」にて公表		
備考		
第三者評価未実施のため、学校関係者評価を掲載		

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.hasekura.ac.jp/school/outline/